

2015年1月8日

## 安全・安心・快適に子育てを楽しむキッズデザインの家“セシボ” アイフルホーム横浜西店 横浜瀬谷住宅公園 にモデルハウス初出店！ ～1月17日(土) グランドオープン～

株式会社LIXIL住宅研究所  
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸 1-5-7/プレジデント : 今 城幸)のFC加盟店である、アイフルホーム横浜西店(会社:株式会社ウイングパス/代表:赤尾 太郎)は、このたび「セシボ」の新モデルハウスを横浜市瀬谷区橋戸の横浜瀬谷住宅公園内に完成させ、1月17日(土)から公開します。

今回オープンするアイフルホーム横浜西店の横浜瀬谷住宅公園展示場は、神奈川県総合住宅展示場内にアイフルホームとして初めて出店するモデルハウスです。

アイフルホームでは、従来から単独展示場のモデルハウス出店を進めてきました。これは展示場への出店経費を抑え、その費用分をお客様の住まいに還元することを考えてのことでした。今回、アイフルホームが総合住宅展示場に出店するのは、既存のモデルハウスはそのままに、家づくりを検討される多くのお客様が来場される総合住宅展示場へ出店することにより、多くのお客様に当社モデルハウスを見ていただくことができ、今まで伝わっていなかった方へもアイフルホームの建物の良さを体感していただけたと考えた結果です。これによりエリア内でのシェアアップを図ります。



《横浜瀬谷住宅公園の新モデルハウスの外観イメージ》

新モデルハウス『セシボ』は、アイフルホームが考える“本当にいい家”＝子ども目線・子ども基準で考えるキッズデザインの考え方を基本に、「キッズセーフティ」「エコロジー」「ストレスフリー」「絆設計」の観点で、いつも子どもに目が行き届く「見守り動線」やママの家事負担を減らす「収納提案」、繰り返しの地震に強い「制震システム」など、家族みんなが安全・安心で快適に暮らせる住まい提案を盛り込んだ建物です。初めて家を建てられる方の多くは、結婚や出産をきっかけにして、との調査結果もあり、この『セシボ』はそのような初めて家を建てられる方向けの提案を随所に盛り込んだ建物となっています。

アイフルホーム横浜西店を運営する株式会社ウイングパスは、神奈川県横浜市に展開する地域密着の住宅会社です。なかでも横浜西店は、アイフルホーム約 160 店舗の中からアイフルホーム FC 本部の厳正な審査の元、最も優秀な現場管理に取り組んでいる店舗に贈られる品質賞の中で最優秀となる金賞を 2 年連続で受賞するほどの優秀な実績を上げている店舗です。

今後も、家族みんなの“絆”を深め、家族一人ひとりの“夢”をかなえる「生涯にわたって幸せな暮らしを“ずっと”続けられる住まい」をご提案していきます。

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(ちぎら)

電話:03-5626-8251 メール: [chigirak3@lixil-jk.co.jp](mailto:chigirak3@lixil-jk.co.jp)アイフルホーム ホームページ/TOP URL: <http://www.eyefulhome.jp/>

# アイフルホーム横浜西店 瀬谷住宅公園新モデルハウス 概要

【オープン日】2015年1月17日(土)

【所在地】〈住所/アイフルホーム横浜西店 横浜瀬谷住宅公園モデルハウス〉  
〒246-0037 神奈川県横浜市瀬谷区橋戸 2-39-12  
〈住所/アイフルホーム横浜西店〉  
〒245-0018 神奈川県横浜市泉区上飯田町 928-1  
〈電話番号〉TEL 045-800-3015

【営業時間】10:00-18:00(水曜日、第1・3火曜日 定休)

【商品名】セシボ

【外観デザイン】シンプルモダンスタイル

【商品特長】「セシボ」の主な特徴

- キッズセーフティ:子どもの安全・安心に配慮した取り組み  
繰り返しの地震に強い次世代制震システム「EVAS(イーバス)」、子どものけが防止の取り組みとして「W ソフトモーション付室内建具」、「滑り止めクッション付き階段」などを用意
- エコロジー:少ないエネルギーで暮らす「少エネ」、無駄なエネルギーを使わない「省エネ」、エネルギーをつくる「創エネ」の取り組み  
エネルギーをなるべく使わない「パッシブ技術」の導入、断熱サッシ「サーモスII-H」、超節水トイレ、節水浴槽、次世代省エネルギー仕様、太陽光発電システム など
- ストレスフリー対応:ママの家事負担を減らす工夫  
いつでも子どもに目が届く「見守り動線」やキッチンも左右どちらからも回れ、みんながお手伝いしやすい「ぐるぐる動線」などの動線提案、見せる、隠す、分散、集中の4つを考えた収納提案
- 絆設計:子どもたちが家族とふれあいながら感性をのびのび育てる工夫  
子どもとのかかわりを考えたコミュニケーション「共育」、自立をうながし、一人で考え、行動できる「強育」、家族の思い出を育み、社会教育との絆を育む「郷育」、子どもの感性を引き出す「興育」の4つの「きょういく」で家族の絆を深める住まい提案

【面積】144.35㎡(43.67坪) (工事面積)

【案内図】

